

中能登町の 再エネ・省エネの取組

ゼロカーボンシティ宣言

- ▶ 令和7年6月5日、中能登町議会6月定例会議において、2050年までに二酸化炭素を実質ゼロにする事を目指し、中能登町ゼロカーボンシティ宣言をいたしました



中能登町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とされる大規模な自然災害が日本を含む世界各地で発生しており、私たちの生活や自然環境などへの影響が危惧されております。

国では、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指しております、同様の動きは企業や地方自治体にも広がっております。

当町におきましても、中能登町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、各種施策のさらなる推進を図るとともに、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指して中能登町ゼロカーボンシティを本日ここに宣言いたします。

今後も、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入やLED照明、省エネ家電、電気自動車などの普及による省エネの推進など、町民、事業者、行政が一丸となって、環境負荷の低減に取り組み、未来の世代に豊かな自然と安心できる生活環境を引き継ぐことを目指してまいります。

令和7年6月5日

中能登町長

喜下 真之

中能登町下水道施設PPA事業

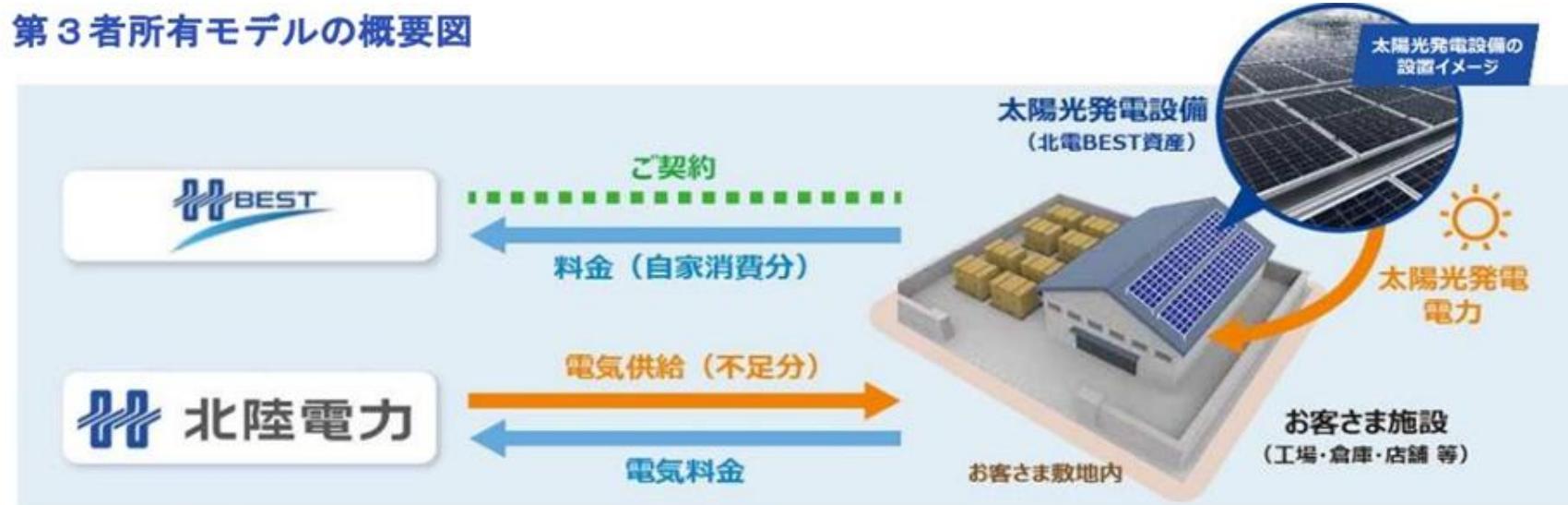
- ▶ 初期投資ゼロで太陽光発電の導入
- ▶ 中能登町の鹿島中部クリーンセンターの敷地内に北電BESTが200kWの太陽光発電設備を建設し、同施設に供給
- ▶ 当施設の年間使用電力量の24%を再生可能エネルギーで賄い、97トン/年のCO₂排出量を削減
- ▶ 太陽光パネル 800m² 328枚
- ▶ 令和7年3月1日より稼働
- ▶ 平成29年10月から下水汚泥の発酵過程から発生するメタンガスを利用した発電を実施



【参考】太陽光発電オンサイトPPAサービスの概要

- ▶ 北電BESTがお客さま施設内の屋根上などに、北電BEST資産として太陽光発電設備を設置し、発電した再生可能エネルギーをお客さま施設内に供給いたします。
- ▶ 北電BESTはお客さまに供給した電力量に応じて、料金を申し受けます。

第3者所有モデルの概要図



- ▶ 初期投資なしで太陽光発電設備からの電力（再エネ100%）を使用することができ、お客さま施設における脱炭素化を推進することが可能です。
- ▶ 点検等の維持管理業務も、北電BESTが実施するため、安心してご利用いただけます。

公共施設等LED化事業

- ▶ 蛍光灯の製造中止が公表されたことから、公共施設の蛍光灯照明の対応が必須
- ▶ 中能登町の140の公共施設で照明更新の計画が未策定
- ▶ ローカルPFI方式を採用し、民間の資金とノウハウを活用し、設計・施工・維持管理を行う。地元（ローカル）事業者の採用促進を募集要項に特記することにより、事業費が地域に還元され地元企業の活性化にも寄与できる。
- ▶ 更新が必要な町内98施設を一括発注。

	着工年度	台数	総事業費	維持管理期間	CO2削減量/年
公共施設	R7	19,000台	35億	R8～R19	700 t

- ▶ 財源の脱炭素推進事業債は令和7年度で終了。
令和7年度中の着手なら令和8年度以降も同様とするの緩和措置あり。

電気自動車導入

- ▶ 令和7年度 2台導入
- ▶ 日産サクラ（軽四） 令和7年6月より 5年リース車両
- ▶ 三菱ミニキャブEV（軽四） 令和7年7月より 車両本体購入
- ▶ クリーンエネルギー自動車導入促進補助金の適用

	サクラ	ミニキャブEV
国補助金	574,000	568,000
県補助金	100,000	100,000
合計	674,000	668,000

そのほかの取組事例

- ▶ 令和7年3月、いしかわエネルギー・マネジメント協会と連携協定、
令和7年4月、内閣府地方創生人材支援制度グリーン専門人材の派遣開始

